

(財)SYDボランティア奨励賞

西九州大サークル 優秀賞



「SYDボランティア奨励賞」で優秀賞を受賞した西九州大学ESRDサークルのメンバー

神崎市

ニュースポーツの普及や福祉施設でのレクリエーション活動を展開する西九州大学（神崎市）の「ESRDサークル」が、社会教育の公益財団法人「修養団（SYD）」の「SYDボランティア奨励賞」の大学・一般の部で優秀賞を受賞した。37人のメンバーで年間の活動日数は120日を数え、県内外の各地を飛び回って子どもから高齢者まで笑顔を咲かせてきた活動が評価された。「賞を励みに、もっと楽しい時間を提供できるように頑張りたい」と意気込んでいる。

ESRDサークルは「エンジョイ・スポーツ&レクリエーション・デイ」の略で、2002年に学生有志で立ち上げた。「あそびフエスタ」などの定期イベントに加え、高齢者福祉施設や自治体主催の健康フェスタなどに引っ張りだこの状態。「限られた時間の中で心をほぐしてもらうのは難しいけれど、そのための工

神崎市

夫がやりがいにつながる」と前副部長の田原亜沙美さん(21)みやき町。風船バレーや魚釣りゲームなど遊びは実に多彩だ。

近年は、パラリンピックの正式種目の球技「ボッチャ」や卓球バレーなど、障害の有無に関わらず楽しめるスポーツの普及にも力を注ぎ、メンバーが卓球バレーの審判員の資格を取得す

運動やレク 県内外で年120日活動

高齢者福祉施設でレクリエーション活動をする西九州大学ESRDサークルのメンバー（提供）



るなど、活動外でも研さんを重ねる。高齢者の生きがいや子どもの居場所づくり、地域活

性化…。ESRDサークルの活動は日本社会が抱える問題に自然と向き合わざるを得ない。前部長の青木博孝さん(21)久留米市は「『みんなが楽しめるように』というのが、言っているのは、言っているのは、簡単な言葉でも実際は難しいとつくづく思う。参加者とのふれ合いの中でまだまだ学びたい」と話す。

(村上大祐)